

Ⅱ 平成27年度みえスタディ・チェックの結果・分析（小学校国語）

1 集計結果

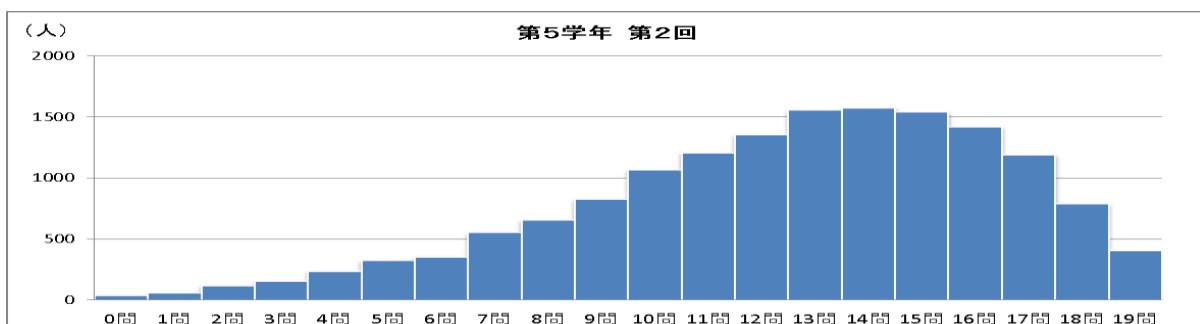
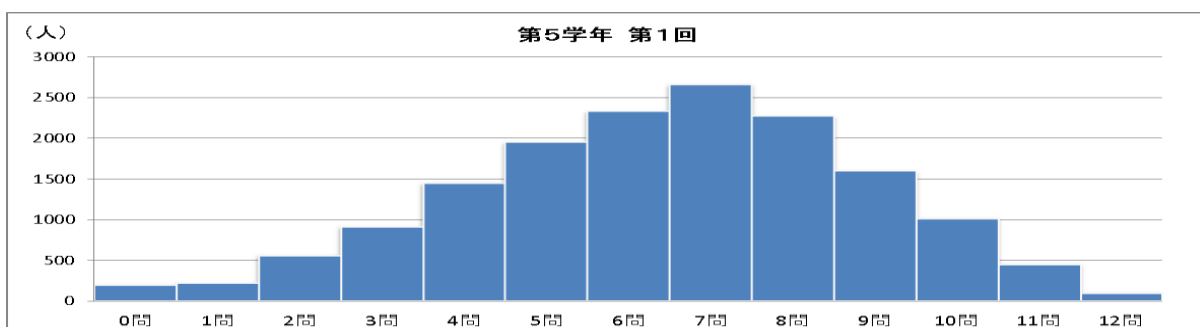
（1） 平均正答率及び領域別平均正答率

	平均正答率	領域別			
		話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する 事項
第4学年 第1回	52.3%	44.6%	18.5%	39.7%	69.5%
第5学年 第1回	53.9%	48.5%	22.3%	31.6%	69.1%
第5学年 第2回	65.6%	30.1%	48.6%	51.4%	72.1%

（2） 平均無解答率及び問題形式別平均無解答率

	平均無解答率	問題形式別		
		選択式	短答式	記述式
第4学年 第1回	10.3%	6.6%	4.4%	24.7%
第5学年 第1回	8.0%	4.4%	2.8%	19.8%
第5学年 第2回	5.1%	1.9%	8.6%	8.8%

（3） 正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：児童数）



(4) 設問別集計結果

① 第4学年 第1回

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			3点セットの関連			正答率	無解答率
		聞くこと	書くこと	読むこと	語彙・表現・文法・語句・ことば・文化・事象・事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語・表現・文法・語句・ことば・文化・事象・事項	選択式	短答式	記述式	全国学調の問題	平成26年度みえスタディ・チェックの問題	ワークシート		
1	一 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む				3・4 (1)ウ (イ)				○		○		H26 A 1 一 H27 A 1 一			98.5%	0.4%
	一 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く				3・4 (1)ウ (イ)				○		○		H26 A 1 二 H27 A 1 二			62.9%	8.0%
	二 文の中における主語と述語との関係を正しく捉える				1・2 (1)イ (カ)				○	○			H27 A 2 一	小三 7月 2 一	H26, 27 第1学年 B書くこと 「えにききを書いてみよう」 H26, 27 第1学年 伝国 「ふんをつくろう」 H26, 27 第2学年 「主語とじゅつ語」	53.2%	2.0%
	二 文の中における主語と述語との関係を正しく捉える				1・2 (1)イ (カ)				○	○			H27 A 2 二			45.0%	2.0%
	三 国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解する				3・4 (1)イ (カ)				○	○			H26 A 8		H26, 27 第3学年 伝国 「文のつながり・言葉の意味」	88.1%	2.4%
2	一 (1) 文章の中心となる語や文を捉える			3・4 イ				○		○				小一 2月 2 三 小四 2月 3 一	H26, 27 第2学年 C読むこと 「せつめい文を読んで、大じなことばや文をとなえよう」	49.7%	4.0%
	一 (2) 目的や必要に応じて文章の要点や細かい点に注意しながら読み、要約する		3・4 ウ, エ	3・4 エ			○	○				○	H26 B 2 二		H26, 27 第3学年 B書くこと 「ほうこく書を作ろう」	13.8%	17.5%
	二 目的や必要に応じて文章の要点や細かい点に注意して読む			3・4 エ			○	○		○			H26 B 2 二			51.1%	7.7%
3	一 場面の移り変わりに注意しながら読む			3・4 ウ			○				○		H27 B3 一	小四 10月 1 一	H26, 27 第3学年 C読むこと 「物語を読もう」	69.0%	4.0%
	二 登場人物の気持ちの変化について、本文の描写を基に書く		3・4 ウ	3・4 ウ			○	○				○	H27 B3 二			15.0%	20.8%
4	一 司会や提案などの役割を理解する	1・2 イ, エ 3・4 オ				○				○			H26 B1 二	小二 2月 3 二	H26, 27 第3学年 A話すこと・聞くこと 「学級会で話し合おう」	59.7%	13.2%
	二 話の中心に気をつけて聞く	3・4 エ				○				○				小三 2月 3 二 ①	H26, 27 第3学年 A話すこと・聞くこと 「話のまとまりに気をつけて聞く」	47.5%	14.7%
	三 目的や必要に応じて、必要なことがらを集めて書く	3・4 イ	3・4 ウ, エ			○	○					○		小三 2月 3 二 ②	H26, 27第4学年 A話すこと・聞くこと 「自分の役わりを考えて、よりよい話し合いをしよう」	26.7%	36.0%

② 第5学年 第1回

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式		3点セットの関連			正答率	無解答率	
			聞くこと	書くこと	読むこと	語の伝統的な言葉に関する文化事と項国	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	全国学調の問題	平成26年度みえスタディ・チェックの問題			ワークシート
1	一 1	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む				3・4 (1) ウ (イ)				○		○		H26 A 1 ー H27 A 1 ー			93.7%	1.7%
	一 2	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く				3・4 (1) ウ (イ)				○		○		H26 A 1 二 H27 A 1 ー			75.4%	3.9%
	二	ことわざの意味と用法を理解し、正しく使う				3・4 (1) ア (イ)				○	○			H25 A 2			80.1%	0.3%
	三	文中における修飾と被修飾との関係を正しく捉える				3・4 (1) イ (キ)				○	○			H27 A 2		H26, 27年度 第4学年 伝聞 「主語・述語・修飾語について確かめよう」	82.3%	0.7%
2	一	段落相互の関係を考えながら、接続語を正しく使う			3・4 イ	3・4 (1) イ (ク)			○	○	○			H25 A 3 二(2)	小三 2月 2 二		14.1%	0.8%
	二 (1)	目的や必要に応じて文章の要点や細かい点に注意しながら読み、要約する			3・4 エ				○		○			H26 B 二		H26, 27 第3学年 お書くこと 「ほうくく書をつくらう」 第4学年 お書くこと 「資料をもとに書こう」	36.5%	1.4%
	二 (2)	書こうとするものの中心を明確にして書く		3・4 ウ	3・4 エ			○	○			○		H26 B 二			25.2%	12.4%
3	一	登場人物の行動や会話に即しながら読む			3・4 ウ				○		○				小四 2月 3 二	H26, 27 第4学年 C読むこと 「登場人物の行動や気持ちの変化をもとに想像して読もう」	71.8%	6.3%
	二	登場人物の性格について、叙述を基に想像して読む		3・4 ウ	3・4 ウ			○	○			○		H20 B 2 ー	小四 10月 1 三 小四 2月 3 三		22.1%	21.9%
4	一	事実と意見との関係を考え、文章を読む	3・4 イ					○			○			H23 B 2 ー H24 B 3 四	小四 2月 2 二	H26, 27 第3学年 お書くこと 「しりょうから分かったことをまとめよう」 第4学年 A話すこと・聞くこと 「自分の役わりを考え、よりよい話し合いをしよう」	57.2%	9.6%
	二	相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立てて話す	3・4 イ					○			○			H27 A 3			68.5%	11.4%
	三	理由や根拠を明確にするために、必要な内容を適切に引用して自分の意見を書く	3・4 イ	3・4 ウ	3・4 エ		○	○	○			○		H25 B 2 二 H26 B 1 三 H27 A 5 二 H27 B 1 三	小四 10月 3 二	H26, 27年度 第4学年 お書くこと 「取材をもとに、記事を書こう」	19.7%	24.5%

③ 第5学年 第2回

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			3点セットの関連			正答率	無解答率
			聞話 くす こと	書 く こと	読む こと	語の統 特的 質に 言 関 する 文 化 事 と 項 国	話 す ・ 聞 く 能 力	書 く 能 力	読む 能 力	知識・理 解・技 の 能	選 択 式	短 答 式	記 述 式	全国学調の 問題	みえスタディ・ チェックの 問題	ワークシート		
1	一 1	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む				3・4 (1) ウ (イ)			○		○		H26 小A 1 一 H27 小A 1 一	H27 小5 10月 1 一 1	H26・27年度 第6 学年 伝国「漢字 を正しく読もう。書 こう5年生で習う 漢字」	89.1%	2.1%	
	一 2	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く				3・4 (1) ウ (イ)			○		○		H26 小A 1 一 H27 小A 1 一	H27 小5 10月 1 一 1		97.1%	0.3%	
	二 1	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む				3・4 (1) ウ (イ)			○		○		H26 小A 1 二 H27 小A 1 二	H27 小5 10月 1 一 2		46.4%	10.8%	
	二 2	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く				3・4 (1) ウ (イ)			○		○		H26 小A 1 二 H27 小A 1 二	H27 小5 10月 1 一 2		64.8%	6.6%	
	二 3	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く				3・4 (1) ウ (イ)			○		○		H26 小A 1 二 H27 小A 1 二	H27 小5 10月 1 一 2		57.7%	14.1%	
	二 4	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く				3・4 (1) ウ (イ)			○		○		H26 小A 1 二 H27 小A 1 二	H27 小5 10月 1 一 2		55.5%	17.5%	
	三 1	文の中における主語と述語の関係を正しく捉える				1・2 (1) イ (カ)			○	○			H27 小A 2 一	H27 小4 10月 1 二	H26・27年度 第4学 年 伝国「主語・述 語・修飾語について 確かめよう」	61.8%	1.6%	
	三 2	文の中における主語と述語の関係を正しく捉える				1・2 (1) イ (カ)			○	○			H27 小A 2 一	H27 小4 10月 1 二	H26・27年度 第2学 年 伝国「主語と じゅつ語」	58.4%	1.7%	
	四 ア	漢字辞典の使い方を理解する				3・4 (1) イ (カ)			○	○			H19 小A 4			87.3%	1.1%	
	四 イ	漢字辞典の使い方を理解する				3・4 (1) イ (カ)			○	○			H19 小A 4			86.3%	1.2%	
	四 ウ	漢字辞典の使い方を理解する				3・4 (1) イ (カ)			○	○			H19 小A 4			88.3%	1.5%	
2	一	目的に応じて必要な情報を読み取る			5・6 イ・ウ			○		○			H27 小A 7	H27 小5 10月 2 二 (1)	H19年～H26年度配 布の学習教材 5年・ 6年 H19年配布「4 情報を読み取る」	77.8%	0.7%	
	二	目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話す	5・6 イ	5・6 ウ・エ	5・6 イ・ウ		○	○	○			○	H24 小B 3 四 H27 小B 2 二、三	H27 小5 10月 2 二 (2)	H27全国学力・学習 状況調査結果に見 られる課題に対応した ワークシート「3年 書くこと」しりょうから 分かったことをまとめ よう」 H26・27年度 小学 校国語ワークシート 「5年 書くこと」グラ フや表から読み取れ ることをまとめよう」	32.4%	6.5%	
3	一	登場人物の関係を捉える			5・6 エ			○		○			H26 小A 5 H27 小A 6		平成19年～平成26 年度 全国学力・学 習状況調査問題より 作成したワークシ ート「10 自分の考え をまとめるために読 む」「13 読書発表 会をする」 平成26・27年度 小 学校国語ワークシ ート「5年 読むこ と『中心人物の心情 をとらえよう』」	73.9%	1.7%	
	二	登場人物の気持ちについて、叙述を基に想像して読む			3・4 ウ			○		○			H20 小B 3	H27 小5 10月 3 二		59.9%	1.6%	
	三	登場人物の心情を行動や会話に即しながら読む		3・4 ウ	5・6 エ			○	○			○	H20 小B 3	H27 小5 10月 3 二		36.4%	9.3%	
4	一	新聞の割り付け（レイアウト）について理解する		5・6 イ				○		○			H27 小B 1 一			63.2%	3.0%	
	二	新聞記事を基にして、適切な見出しを考える		5・6 ウ				○		○			H27 小B 1 二		平成19年～平成26 年度配布の学習教 材 5年・6年 平成19 年配布「2 新聞記事 を書く」 平成27全国学力・学 習状況調査結果に 見られる課題に対応 したワークシート「4 年 書くこと」取材をも とに記事を書こう」 「5・6年 書くこと 『事実と感想、意見 などを区別して書こ う』」	83.4%	5.0%	
	三	インタビューの内容を適切に引用して、新聞記事を書く	3・4 エ	5・6 ウ	3・4 エ		○	○	○			○	H27 小B 1 三	H27 小5 10月 4 三		27.7%	10.8%	

2 みえスタディ・チェックの課題等、指導改善のポイント

(1) 各教科の具体的な課題等

(○：選択 ◎：短答 ☆：記述)

		強み (相当数の児童ができています点)		弱み (課題のある点)	
第4学年	第1回	1ー1	◎漢字を正しく読むこと。	2ー(2)	☆筆者が述べていることを読み取って条件に合わせてまとめること。(無解答率も高い)
		1三	○文中から適切な言葉の意味を考えること。	3二	【問題掲載】 ☆登場人物の気持ちが、どんな出来事や理由によって変化したかを捉えること。(無解答率も高い)
第5学年	第1回	1ー1	◎漢字を正しく読むこと。	2ー	○接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し使うこと。
		1三	○どの言葉を詳しく説明しているかを捉えること。	4三	☆自分の考えの理由を明確にするために、話の内容を正確に引用すること。(無解答率も高い)
	第2回	1ー1	◎漢字を正しく読むこと。	2二	☆目的に応じて、複数の資料から必要な情報を押さえ、自分の考えを明確にしながら書くこと。
		1ー2 1四ウ	○漢字辞典の正しい使い方を理解していること。	3三 4三	☆登場人物の相互関係や心情をとらえて読み、優れた叙述について自分の考えをまとめること。 ☆目的に応じて、会話の内容を引用して、自分の考えが伝わるように書くこと。【問題掲載】

(2) 全体の傾向

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことができる。
- ・話の内容を正確に引用して、自分の考えを書くことに課題がある。
- ・登場人物の心情やその変化を、叙述をもとに読むことに課題がある。

(3) 指導改善のポイント

問題	指導改善のポイント
小4 第1回 2ー(2)	・筆者が述べていることを読み取って、条件に合わせてまとめるには、文章の中心となる大事なことがらに注意しながら読んで要約することや、目的に応じた要約の方法を考えさせることが大切である。 →ワークシート『平成26年・27年度 第3学年 B書くこと 「ほうこく書を作ろう」』を活用
小5 第1回 4三 小5 第2回 4三	・目的に応じて、必要な内容を引用して、自分の考えが伝わるように書くには、「自分の考えを補説したい」、「説得力を高めたり、具体例を挙げて読み手を納得させたりしたい」など、何のために引用するのかについての意識を持たせることが必要である。また、引用とは、「本や文章の一節や文、語句などを引いてくることであり、かぎ(「」)で括ること」など引用の仕方を理解することが大切である。 →ワークシート『平成26年・27年度 第4学年 C読むこと 「引用した文を使って」』を活用 →ワークシート『平成26年・27年度 第4学年 B書くこと 「取材をもとに、記事を書こう」』を活用

【第4学年 第1回2－（2）の問題】

2

川本さんの学級では、自分がきょう味をもったことについて、調べた内ようをほう告^こすることになりました。川本さんは、家でかっている魚を見て、魚の特^{とく}ちようについてきょう味をもち、調べることにしました。川本さんは、次の【科学読み物】を読んで、分かったことを【ノート】にまとめ、【ほう告する文章】を書きました。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ノート】

魚には、どうして、うろこがあるの？

ア

- ・うろこは屋根のかわらのようにかざなっていて、じょうぶ
- ・うろこのおかげで、からだの中をきずつけないようになっている。
- ・うろこがあると、からだの中から水がでていたり、中にはいつてきたりしない。

●うろこの数

- ・魚のしゅるいごとに決まっている。
- ・魚が大きくなると、うろこもいっしょに大きくなる。

イ

- ・魚のうろこには「しまもよう」がある。
- このしまは、魚が年をとることにい

【ほう告する文章】

魚のふしぎ

川本 まり

わたしの家では、魚をかっています。魚には、わたしたち人間どちがつて、うろこがついています。また、魚はいつ見ても目をあけて泳いでいるように見えます。なぜうろこがあるのか、いつねむっているのかを知りたいと思いました。そこで、魚にうろこがある理由と、魚がどうやってねむっているのかについて、調べることにしました。

図書かんで『科学なぜどうして 三年生』という本を読んで、調べました。

調べてわかったことは、魚のうろこはからだを守るためにあるということです。また、魚のうろこには「しまもよう」があり、

る。うろこのわの数をかざえると、魚の年れいがわかる。

魚は、いつも目をあけているけれど、いつ、ねむるの？

●魚のまぶた

- ・魚にはまぶたがないので、いつも目があいたまま

●べらのねむる場所

- ・すなの中や岩かけ

●川の魚がねむる場所

- ・岩のかけや石の下

●まとめ

ウ

このしまは、魚が年をとるといえるということです。うろこのわの数をかざえると、魚の年れいがわかるそうです。

魚がどうやってねむっているのかについては、魚にはまぶたがないので、目をあけたまま、岩のかけなどでねむっていることがわかりました。

エ

掲載している問題については著作権の都合により一部を省略しています。

川本さんは、**科学読み物**の内ようを、まとまりごとに、**パート**に短くまとめました。**プー**

(1) フートのアとイに当てはまる組み合わせとして最もふさわしいものを

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| ア | ア | ア | ア |
| うろこの役わり | うろこの役わり | うろこの形 | うろこの形 |
| イ | イ | イ | イ |
| うろこのもよう | うろこの大きさ | うろこの大きさ | うろこのもよう |

(2) **フット**の **ウ**に当てはまる内ようを、次のじょうけんに合わせて書きましよう。

〈じょうけん〉

- **【科学読み物】**の内ようを使って書くこと。
- **【フート】**の書き方に合わせて書くこと。
- **三十字以上、四十字以内**で書くこと。

※左の原う用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。かい答は、かい答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。と中で行を変えないで、続けて書きましょう。

30字			
40字			

二【ほう告する文章】の

エ

には、川本さんの感想が入ります。川本さんの感想として

- 1 魚のうろこは魚のからだを守るためにあるということや、魚は目をあけたままねむっていることが分かってよかったです。今度、家の魚を調べてみようと思います。
- 2 魚のうろこが年をとるとふえていくことや、魚はいつも目があいていることが分かってよかったです。実さいにどうなっているか調べてみようと思います。
- 3 魚が大きくなるとうろこが大きくなることや、メダカなどの海の魚は夜になると海でいて身を守ることが分かってよかったです。家の魚を調べてみようと思います。
- 4 魚のうろこの「しもよう」で魚が食べるものが分かることや、魚も夜は目をしてねむることが分かってよかったです。いろいろな魚を調べてみようと思います。

【関連するワークシート】

〈小学校三年生〉

書くこと ほうこく書を作ろう

年 組 番 名前

木村さんのクラスでは、自分が興味を持ったことを調べて、クラスで発表するために、ほうこく書にまとめています。木村さんは昔のおかしについて調べてクラスのみんなに伝えることにしました。次は木村さんがまとめたメモです。次の三つのメモを読んで、あとの問いに答えましょう。

調べる計画のメモ

○調べること↓昔のおかしについて

○調べたいと思った理由↓前の社会の時間に昔のくらしについて調べた。わたしは、おばあさんの家にインタビューに行つて、おばあさんが子どもの時によく食べていたおやつのかんとうを出してもらった。その時、ほかに昔のおやつにはどんなものがあるのか気になったから。

○調べ方↓近所のおじいさん、おばあさんにインタビューしたあと、図書館の本で調べる。

調べたこと【昔のおかしについて】のメモ

インタビューで分かったこと

○カルメヤき

・今もお祭りやだかし屋さんで売られている。
・丸い形をしている。

○こんべいとう

・星の形をしたさとうのおかし。
・赤、青、黄、白などのいろいろな色がある。

○べっこうあめ

・すきとおった茶色のアメ。
・さとうと水を温めて作る。

図書館の本で調べたこと

○カルメヤき

・作っている時はあまいかわりがして、あつさが4センチメートルぐらいまでふくらむ。
・外国からつたわったおかし。

○こんべいとう

・外国からつたわったおかし。
・かんせいするまでに十日から二十日かかる。

○べっこうあめ

・さとうがうすい黄色になるまで温める。温めすぎてチョコレート色になると、味がとても苦くなる。

調べた感想メモ

・昔のおかしは、くだものなどをそのまま食べているだけかなと思っていた。
・さとうを使ったあまいおかしがたくさんあっておどろいた。
・家で作ることができるおかしもあったので、作って食べたい。

木村さんは、ほうこく書を「調べることにした理由」↓「どのようにして調べたか」↓「調べて分かったこと」↓「感想」のじゅんに書きました。木村さんのほうこく書のかんせいをさませましょう。

何について調べたのか。
調べることにした理由。

どのようにして調べたのか。

調べて分かったこと

感想

わたしは、昔のおかしについて調べました。前の社会の時間に昔のくらしについてわたしのおばあさんの家にインタビューに行つた時に、おばあさんが子どもの時によく食べていたおやつのかんとうを出してくれました。その時に、ほかに昔のおやつはどんなものがあるのか気になったので、昔のおかしについて調べることにしました。

近所のおじいさん、おばあさんに、昔、よく食べていたおかしについてインタビューして、その後、そのおかしについて図書館の本で調べました。

わたしが調べたむかしのおかしは次の三つです。

(一)カルメヤき

今もおまつりやだかし屋さんで売られていて、丸い形をしています。作っている時は、あまいかわりがして、あつさが4センチメートルぐらいまでふくらみます。このおかしは外国からつたわったおかしです。

(二)こんべいとう

星の形をしたさとうのおかしで、赤、青、黄、白などのいろいろな色があります。おかしをかんせいさせるまでに十日から二十日かかります。

このおかしは外国からつたわったおかしです。

(三)べっこうあめ

すきとおった茶色のアメで、さとうと水を温めて作ります。さとうがうすい黄色になるまで温めますが、温めすぎてチョコレート色になると、味がとても苦くなります。

おじいさんやおばあさんに話を聞いたり、本で調べたりする前は、昔のおかしは、くだものなどをそのまま食べているだけかなと思っていましたが、さとうを使ったあまいおかしがたくさんあっておどろきました。家で作ることができるおかしもあったので、作って食べたいと思いました。

【ここをチェック】

- ほうこく書を書くじゅんに気をつけて書いていますか。
- インタビューで分かったことと図書館の本で調べたことのどちらの内容もおとさずに書いていますか。
- ていねいな言葉を使って書いていますか。
- 書いた文を読みかえして、まちがいを正したり、よりよい書き方になおしたりしましたか。

〈関連教材〉

光村図書三年「気になる記号」「本で調べて、ほうこくしよう」
東京書籍三年「研究レポートを書こう」

東小学校の体育委員会では、四、五年生を対象にアンケートを取り、その結果をもとにして、「来年度の運動会の全校種目」について話し合っています。次の「アンケート結果」と「話し合いの様子」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【アンケート結果】

運動会に関するアンケート

東小学校 体育委員会

- ・アンケート対象…4年生60人、5年生60人、計120人
- ・アンケート日時…10月30日（金） 6時間目

アンケート① 今年の運動会の全校種目の中で、印象に残った種目は何ですか。

○大なわとび

〔印象に残った理由〕

- ・はんの全員でなわをとぶとき、たてわりはんのみんなが一つにまとまったから。
- ・たてわりはん対こうで、もり上がったから。

〔印象に残った種目〕

全校種目	人数(人)
大なわとび	56
応えん合戦	49
玉入れ	15
合計	120

○^おえん合戦

〔印象に残った理由〕

- ・全学年で協力してがんばったから。
- ・6年生がかけ声やふり付けをていねいに教えてくれたから。

○玉入れ

〔印象に残った理由〕

- ・低学年の子も楽しそうに玉を投げていたから。

アンケート② 来年の全校種目について、何か意見はありますか。

- ・大なわとびみたいに、たてわりはん対こうでもり上がるものがいい。
- ・応えん合戦みたいに、全校のみんなでいっしょにできることがいい。
- ・玉入れみたいに、待っている時間が長い種目は変えたほうがいい。

【話し合いの様子】

委員長



それでは、来年の運動会の「全校種目」についての話し合いを始めます。今年の全校種目は、「大なわとび」「応えん合戦」「玉入れ」の三つでしたが、この中で、ちがう種目に変えたほうがよい種目はありますか。

村山



はい。^{*}玉入れは変えたほうがよいと思います。なぜなら、アンケート結果に、

ア

川村



わたしも村山さんと同じで、玉入れは変えたほうがよいと思います。

委員長



来年は、玉入れを別の種目に変えたほうがよいという意見が多いようですね。では、玉入れに代わる種目の提案^{ていあん}がある人はいいますか。

山田



全校でダンスをおどるのはどうでしょうか。

田中



アンケート結果に「たてわりはん対こうでもり上がるものがいい」とあるので、たてわりはん対こうの種目のほうが、もり上がってよいと思います。

森田



全校リレーはどうでしょうか。

委員長



全校ダンスと全校リレーという意見が出ました。他の種目の提案がある人はいいますか。（間をあけて）

委員長



それでは、全校ダンスと全校リレーのどちらを行うかについて、意見のある人はいいますか。

西本



わたしは全校ダンスがよいと思います。なぜなら、全校のみんながダンスをいっ

しよにおどつたら、きつと楽しいと思うからです。かん単なふり付けにすれば、だれでもおどろくことができるようになると思います。また、六年生が一年生のとなりでおどれば、一年生も楽しくおどれると思います。

谷口



わたしは全校リレーがよいと思います。なぜなら、全校リレーは、一年生から六年生までが協力してバトンをつなぐので、全学年が協力できる種目だからです。また、たてわりはん対この種目なので、みんなのやる気が出ると思っています。

（話し合いが続く）

二【話し合いの様子】の田中さんの発言は、どのようなふうをしていますか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 去年の運動会のことを取り上げて話している。
- 2 アンケート結果を理由として取り上げて話している。
- 3 自分の体験を理由として取り上げて話している。
- 4 前に話した人の発言に付け足して話している。

一【話し合いの様子】の村山さんの発言の

ア

には、*

部「玉入れは変えたほうがよい

と思います」という意見の理由が入ります。【話し合いの様子】のアに当てはまる、村山さんの意見の理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 「たてわりはん対この種目はもり上がらない」とあるからです。
- 2 「全校のみんながいつしよにできることがいい」とあるからです。
- 3 「高学年にはかん単すぎるからちがう種目がいい」とあるからです。
- 4 「待っている時間が長い種目は変えたほうがいい」とあるからです。

三 あなたは、「全校ダンスがよい」という意見と、「全校リレーがよい」という意見と、どちらの意見に賛成ですか。次の条件に合わせて、あなたの意見とその理由を書きましょう。

〈条件〉

- はじめに、「全校ダンスがよい」という意見と、「全校リレーがよい」という意見のどちらに賛成か、立場を明らかにして書くこと。
- そう思う理由を、【話し合いの様子】の中から「」を使って取り出し、書くこと。
- 八十字以上、百二十字以内でまとめて書くこと。

【関連するワークシート】

□ 引用した文に「」をつけましたか。
□ 百三十文字以上百五十文字以内で書きましたか。

〈関連教材〉 光村図書四年上「動いて、考えて、また動く」

例

	た	自	う	聞	し	ず	で	夫	私
	め	分	に	く	た	で	き	を	は
	の	に	思	と		す	な	重	、
	宝	し	え	、	な	。い	ね	「	
	物	か	て	失	ぜ	の	方	て	成
	な	で	く	敗	か	と	法	い	功
	の	き	る	が	と	こ	が	く	や
	だ	な	か	悪	い	る	、	こ	失
	と	い	ら	い	う	が	き	と	敗
	気	方	で	こ	と	い	っ	で	を
	づ	法	す	と	、	い	と	、	く
	き	を	。で	こ	な	見	あ	り	
	ま	見	失	は	の	と	つ	な	返
	し	つ	敗	な	言	感	か	た	し
	た	け	が	い	兼	じ	る	し	、
	。る	、	よ	を	ま	は	か	工	

例

成功や失敗をくり返し、工夫を重ねていくことで、あなたしかできない方法が、きっと見つかるはずです。

問一 あなたが「いいな。」と感じた文を書きぬきましよう。
【条件一】一文、または、二文を書きぬくこと

問二 ほかの人が書いた文や言葉を自分の文章に入れて使うことを「引用」と言います。問一で書きぬいた文を引用して、その文をいいなと感じた理由を書きましよう。
【条件二】まず、引用した文を書いて、そのあとに、理由を書くこと
【条件三】百三十文字以上百五十文字以内で書くこと

「動いて、考えて、また動く」を読んで、次の問いに答えましよう。

年 組 番 名前

引用した文を使って

読むこと

〈小学校四年生〉【解答例】

【第5学年 第2回4三の問題】

【五年五組新聞の下書き】

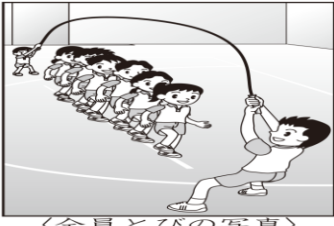
①

②

5 組の仲間にインタビュー

山田さんは、「みんなよりも高くとばないといけないが大変でした。しかし、みんながあきらめずにとんでいたで、わたしもがんばりました。」と言っていました。

大なわとび大会を終えて、全員とびでなわのはじでとんでいた山田さんと、なわをずっと回し続けていた川上さんにインタビューをしました。



〈全員とびの写真〉

③

五年五組新聞

1 月号
平成 28 年
1 月 29 日
5 年 5 組
新聞委員会

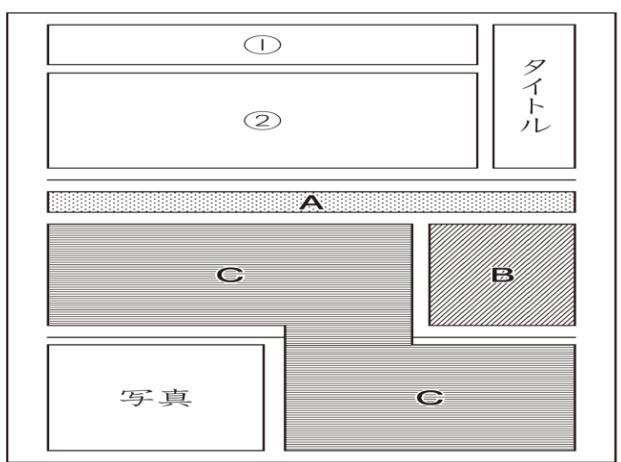
4

五年五組の新聞委員の森下さんは、学年行事の大なわとび大会のことを、学級新聞にまとめて伝えることにしました。森下さんが作った次の『五年五組新聞の下書き』をよく読んで、あとの問いに答えましよう。

一 森下さんたちは、次のような【わり付け】を考えて、【五年五組新聞の下書き】を制作しました。

A・B・Cは、それぞれ何とよばれるものですか。その組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【わり付け】



- | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|
| 1 | A | リード文 | B | 見出し | C | 本文 |
| 2 | A | 見出し | B | リード文 | C | 本文 |
| 3 | A | 本文 | B | 見出し | C | リード文 |
| 4 | A | 見出し | B | 本文 | C | リード文 |

二 森下さんたちは、②について、次のア、イの二種類の記事を考えました。ア、イの記事をよく読んで、あとの【問い】に答えましょう。

ア

1月15日（金）に行われた大なわとび大会の全員とびで、5年5組は準ゆう勝の成績をおさめました。練習をはじめたころは、すぐにひっかかってしまいました。何度もみんなで練習をして、どんどんとべる回数が増えていきました。本番も、練習どおりにとびことができ、準ゆう勝できたので、うれしかったです。

イ

1月15日（金）に行われた大なわとび大会の全員とびで、5年5組は準ゆう勝でした。練習をはじめたころは、すぐにひっかかってしまいましたが、何度もみんなで練習をしたので、本番前日の合同練習では1位でした。しかし、本番では練習の成果を出しきれず、ゆう勝できなかったため、くやしかったです。

【問い】

②の部分にア、イの記事をそれぞれ入れた場合、①の部分にはどんな言葉を入れたらいいですか。次の1と2からア、イそれぞれにふさわしいものを一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | 5年5組、ゆう勝まであと一步、準ゆう勝に終わる。 |
| 2 | 5年5組、練習の成果を出しきり、見事準ゆう勝に。 |

三 森下さんは 川上さんがくふうしたことがんばったことを伝えようと思い、【五年五組新聞の
下書き】の ③の部分に、川上さんに行ったインタビューの内容をのせることにしました。
あとの【条件】に合わせて、 ③にあてはまる内容を書きましよう。

【川上さんへのインタビュー】

森下 川上さんは、ずっとなわを回し続けて、とても大変だと思いました。なわを回しているとき、どんなことをくふうして、回していましたか。

川上 はい、みんながとびやすいように、大きく回すことをくふうしました。

森下
がんばったことはありますか。

川上 うての力をいっぱい使うので、うてがいたくなりましたが、最後まで回し続けることをがんばりました。みんなが声かけをしてくれたことが、うれしかったです。

川上さんは、学級の記録が少しでものびるように、がんばっていたんですね。

〈条件〉

○【川上さんへのインタビュー】の内容を、「」を使って取り出して、書くこと。

○書き出しに続けて、八十字以上、百字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ

※左の原紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※の印から書きましょう。と中行を変えないで、続けて書きましょう。

川上さんは、

[illegible]

【関連するワークシート】

〈小学校四年生〉 解答例

取材をもとに、記事を書こう

年組番名前

「給食新聞」を作るために、給食調理員の佐藤さんにインタビューをしました。取材メモをもとに、新聞記事を書きます。百六十字以上、百七十字以内の記事になるように、佐藤さんの言葉を引用して（＊引用文には「」をつける）、続きを完成させましょう。また、読む人のきょうみをひく見出しをつけましょう。

【取材メモ】

質問① どうして、給食調理員の仕事をしようと思ったのですか

ていて、おうちの人といっ

質問②仕事をしていて、大変なことは何ですか。

あります。

答え 給食で使ったお皿がきれいに返してもらって

れが、うれしいです。

見出し

お皿から感しやの言葉が聞こえる

☆記事は、一まず目から書きましょう。
とちゅうで行をかえないで、つづけて書き
ましょう。

れ	が	も	ー	も	室	で	い	ろ	給
し	聞	ら	給	や	は	、	し	、	食
い	こ	っ	食	け	、	こ	い	家	調
ー	え	て	で	が	夏	の	と	の	理
と	て	あ	使	で	は	仕	言	人	員
話	く	る	っ	き	暑	事	っ	と	の
さ	る	と	た	る	く	を	て	給	佐
れ	気	、	お	こ	冬	選	も	食	藤
て	が	そ	皿	と	は	ん	ら	メ	さ
い	し	こ	が	も	水	だ	っ	ニ	ん
ま	て	か	き	あ	が	そ	た	ユ	は
し	、	ら	れ	る	冷	う	こ	ー	、
た	そ	感	い	そ	た	で	と	を	小
°	れ	謝	に	う	く	す	が	作	学
	が	の	返	で	て	°	き	り	生
	、	言	し	す	、	調	っ	、	の
	う	葉	て	°	し	理	け	お	こ

□ 読む人のきょうみをひくような見出しをつけることができましたか

□ 決められた文字数で書くことができましたか。

〈関連教材〉光村図書四年上「新聞を作ろう」

東京書籍四年上「みんなで新聞を作ろう」